※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０８

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版　（大修館）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　改訂版　（大修館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保健では安全で健康的な生活行動について学びます。身近な健康・安全に関する問題を取り上げながら、個人の課題を知り、その解決方法を考えます。また、人々の健康を保持増進したり、安心・安全な社会を作るために行われている社会的な取り組みについて知ることで、個人が適切な意志決定・行動選択をおこなえるような力を身に付けます。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・将来にわたって明るく健康な生活を形成、維持していく知識や能力をみにつけさせる。
・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に考えることができるようにする。
・健康や安全に対する社会的な取り組みを知り、個人的な対応と関連づけられるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会と健康	交通事故の現状と要因 1. 交通事故の現状 2. 交通事故の要因 交通社会における運転者の資質と責任 1. 安全な運転のための資質 2. 交通事故の責任と補償 応急手当の意義とその基本 1. 応急手当の意義 2. 応急手当の手順 心肺蘇生法 1. 心肺蘇生法の意義と原理 2. 心肺蘇生法の手順 日常的な応急手当 1. けがの応急手当 2. 熱中症の応急手当	a: 交通事故の現状とその原因についての知識を身につける。 交通社会で必要な資質と責任や交通事故などによる傷害がない安全な社会づくりについての知識を身につける。 応急手当の必要性や意義、心肺蘇生法の手順、AED の使い方を実践したり、その注意点についての知識を身につける。 日常生活のどのような場面や状況で傷害等が発生するかについての知識を身につける。 b:授業内容をノートにまとめることができる。小テスト・定期考査において、知識をまとめて文章化し解答できる。 c:ノートのまとめとともに、自分の言葉でメモを取ることができる。毎時間授業内でノートをまとめ、提出ができる。	定期考査	定期考査 小テスト	ノート等の提出物 授業内の取り組み

※令和４年度以降入学生用

2学期	生涯を通じる健康	思春期と健康 1. 思春期の体と健康 2. 思春期の心と健康 性意識と性行動の選択 1. 性意識の変化と異性の尊重 2. 性に関する情報と性行動 妊娠・出産と健康 1. 受精・妊娠・出産 2. 妊娠・出産期の健康のために 家族計画と人工妊娠中絶 1. 家族計画の意義と避妊法 2. 人工妊娠中絶	a: 思春期における心身の変化，健康課題についての知識を身につける。 性意識の男女差，性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについての知識を身につける。 妊娠・出産の過程における健康課題，妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについての知識を身につける。 家族計画の意義と適切な避妊法，人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響についての知識を身につける。 b:授業内容をノートにまとめることができる。小テスト・定期考査において、知識をまとめて文章化し解答できる。 c:ノートのまとめとともに、自分の言葉でメモを取ることができる。毎時間授業内でノートをまとめ、提出ができる。	定期考査	定期考査 小テスト	ノート等の提出物 授業内の取り組み
3学期	生涯を通じる健康	加齢と健康 1. 加齢にともなう心身の変化 2. 中高年期を健やかに過ごすために 高齢者のための社会的取り組み 1. 高齢者の健康課題とその支援 2. すべての人が健康で安全に暮らすための取り組み 保健制度とその活用 1. 保健行政の役割と健康 2. 保健サービスの活用	a:加齢にともなう心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについての知識を身につける。 高齢者の健康課題とその社会的な支援、すべての人が健康で安全に暮らすための社会的取り組みについての知識を身につける。 保健行政の役割、保健サービスや保健情報の活用についての知識を身につける。 b:授業内容をノートにまとめることができる。小テスト・定期考査において、知識をまとめて文章化し解答できる。 c:ノートのまとめとともに、自分の言葉でメモを取ることができる。毎時間授業内でノートをまとめ、提出ができる。	定期考査	定期考査 小テスト	ノート等の提出物 授業内の取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度